

基本経穴刺鍼法

基本経穴	刺鍼方向	手法	方意
足三里(写真1)	直刺	捻転補法	補益後天
血海(写真2)	直刺	捻転平補平瀉法	調血和血
外関(写真3)	直刺	捻転平補平瀉法	通調三焦
気海(写真4)	直刺	捻転補法	上焦・中焦・下焦 の調節
中腕(写真5)	直刺	捻転補法、呼吸補法	
臑中(写真6)	上45°斜刺	捻転補法	

三焦鍼法のツボ



外関



足三里



血海



気海



中腕



臑中

三焦鍼法 (益気調血 扶本培元)

三焦を調えれば老化遅延・健康寿命を期待できる。

- 1) 上焦は天の陽気により心肺を養い、
- 2) 中焦は飲食を調べて胃と脾を養い、
- 3) 下焦は節度を持つことで肝と腎と膀胱を養う。

脳血流量を増大、代謝を亢進、神経再生を促し
結果的に535名の認知症患者の周辺症状改善に
有意な効果を示し、動物実験でも証明された。

Gold-QPD鍼灸師の実践による成果

- 1) 初対面時は説明しても施術を拒否する(13%)

説得して2~3回目にはほとんどが受諾する。

- 2) 初施術から身体と頭が軽くなったと明るくなり、5回までに(36%)

話し始め気持ちよくなったなどと発言するようになる。

- 3) 平均3ヶ月12回施術で周辺症状の緩和、落ち着き、家族を見

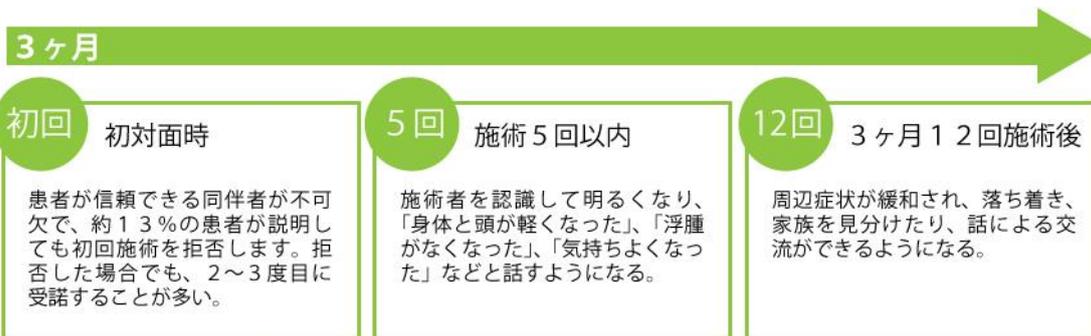
分け話の交流が出来て周辺症状が抑制されることが多い。

- 4) 認知度スケール(MMSE)に大きな変化は無い。自立するための

日常生活動作(ADL)と生活の質(QOL)が著しく向上した。

『三焦鍼法』の結果：(週1回3ヶ月間施術が基本単位)

結果概要



3ヶ月後の変化

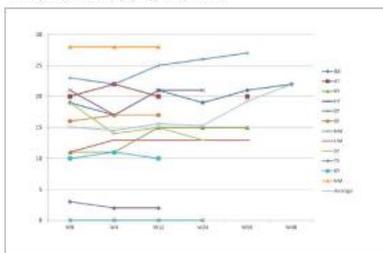
- ・長期にわたり周辺症状が抑制されました
- ・認知度スケール（MMSE）には大きな変化はありませんでした
- ・自立するための日常生活動作(ADL)と生活の質(QOL)が著しく向上しました

対象患者

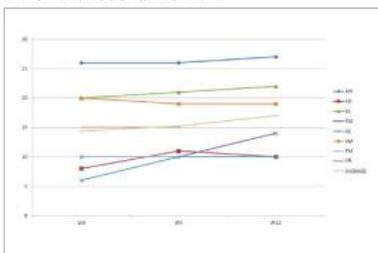
認知症の種類	患者数（男/女）	平均年齢	鍼灸施術回数/週
アルツハイマー型認知症(AD)	20人（8/12）	81.9	最大48回
血管型認知症(VaD)	8人（2/6）	83.4	12回
生活習慣病型認知症(L-SD)	40人（9/31）	81.7	12回

MMSE

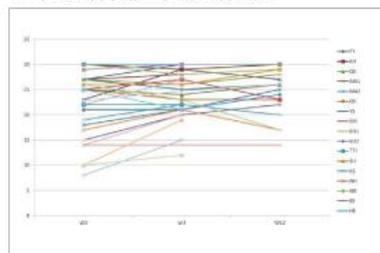
MMSE of 12 Patients with AD



MMSE of 8 Patients with VaD



MMSE of Patients with various L-SD



Gold-QPD 鍼灸師からのメッセージ

Gold-QPD 第1回研修生として、認知症の改善と予防を目的とした鍼施術を始めて約3年半が経過しました。施術回数は160回以上に達しています。三焦鍼法を基本とした全人的アプローチにより、認知症の方の表情が明るくなり、笑顔や笑いが増え、語彙が豊かになりコミュニケーション能力が向上し、ADLや身体機能の改善がみられます。MMSEの上昇傾向もみられ、認知機能の向上や認知症の進行を抑える予防効果も期待できます。認知症に対する鍼施術の有効性を検証するためには、更なる臨床データの集積が不可欠です。がんばりましょう。（広島 IGL 医学専門学校 T.S.）

関連施設の主任看護師からのメッセージ

高齢者の看護（とくに三焦鍼法の施術を実施した入居者について）

- 1) 当施設では合計17名の入居者さんが鍼を受けました。
- 2) 鍼灸師と最初に面談したとき、鍼施術を拒絶した方は1名でした。
- 3) 施術を最後まで拒絶し、結局施術の体験をしなかった方は2名いました。
- 4) 初めは拒否したが2度目以降にやっと施術を許してくれた方は2名でした。
- 5) 施術経過の途中で気まぐれに拒絶した方が1名いました。
- 6) 施術の効果があり、喜んでくれた方は合計7名です。
- 7) 鍼灸施術がもっとも効果的であったのは最初拒絶した方たちでした。
- 8) 主任から見て三焦鍼法に対する印象は、
 - ・跡が残ることがなく良かった。
 - ・効果はある。もっと長くしていただけたら実証できることが多かったでしょうか。
 - ・痛みを訴える方はほとんどいませんでした、鍼に対する恐怖心をもたれることが多い。
 - ・今回取り組んだことで、ご利用者には良い刺激となりご家族からは喜びの声が聞かれ、施設としては良い経験ができました。

鍼灸によるQOLの向上報告

	改善項目
ADL	日常の動作の改善
転倒の予防	関節のこわばり、しびれ、マヒ
食欲	嚥下、消化
便通	便秘、尿量減少、失禁
睡眠	不眠症の改善
気分・リラックス	うつ傾向、情緒
物忘れ	認知症予防